



システム イベント ログ メッセージの概要

この章では、システム イベント ログ メッセージに関する一般情報を提供します。この項では次のトピックについて説明します。

- [システム イベント ログ メッセージに関する情報\(6-1 ページ\)](#)
- [SEL ファイル\(6-1 ページ\)](#)
- [SEL ポリシー\(6-2 ページ\)](#)

システム イベント ログ メッセージに関する情報

システム イベント ログ (SEL) は、NVRAM 内の CIMC に存在します。電圧の過不足、温度イベント、ファンイベント、BIOS からのイベントなど、ほとんどのサーバ関連イベントが記録されます。また、メモリエラー、CPU エラーなどのプラットフォームのエラーも記録されます。

SEL は、主にトラブルシューティングのために使用します。UCSM はシステムの予防的なヘルスマonitoring のメカニズムを提供するために SEL レコードを使用します (たとえば、障害およびエラーの統計情報)。



ヒント

各サーバの SEL を表示する方法や SEL ポリシーの設定方法などの SEL の詳細については、『[Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap](#)』からアクセスできる Cisco UCS の設定ガイドを参照してください。

SEL ファイル

SEL ファイルのサイズは約 40KB で、ファイルがいっぱいになるとそれ以上イベントを記録されません。新たなイベントを記録できるようにするには、ファイルの中身をクリアする必要があります。

SEL ポリシー

SEL ポリシーは、SEL をリモート サーバにバックアップし、必要に応じて、バックアップ操作後に SEL をクリアするように設定できます。バックアップ操作は、SEL のバックアップ ポリシーの一部としてユーザ定義の次のアクションに基づいてトリガーできます。

- SEL のログがいっぱいになった場合
- サーバ アソシエーションが変更された場合
- タイマー インターバルの有効期限が切れた場合など。

SEL のバックアップやクリアは、手動で行うこともできます。